

資料名「平成30年度学生募集要項」(1/11)

平成30年度
学生募集要項

(出願書類添付)

(選抜日程表)

選抜方法	願書受付期間	試験日	合格発表日	入学確約書提出期限
推薦選抜	1月9日(火) ? 1月12日(金)	1月20日(土)	1月24日(水)	2月2日(金)
学力選抜	1月29日(月) ? 2月2日(金)	2月18日(日)	2月22日(木)	3月2日(金)

※ 学力選抜の願書は、推薦選抜の願書受付期間においても受付可能です。

独立行政法人国立高等専門学校機構

明石工業高等専門学校

National Institute of Technology, Akashi College, Japan

〒674-8501 明石市魚住町西岡679-3

電話 (078) 946-6149

FAX (078) 946-6071

メールアドレス nyushi.jini@akashi.ac.jp

ホームページ http://www.akashi.ac.jp

出典「平成30年度学生募集要項」

資料名「平成 30 年度学生募集要項」(2/11)

目 次

学生募集要項

I アドミッション・ポリシー (入学者受入方針)	1
II カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施方針)	1
III ディプロマ・ポリシー (卒業認定方針)	1
IV 募集人員	1
V 選抜の方法	1
推薦選抜	2
1 出願資格及び推薦基準	2
2 願書受付	2
3 出願手続	2
4 出願手続上の注意事項	2
5 選抜方法	3
6 合格者発表	3
7 入学確約書の提出	3
8 当日欠席した者及び合格とされなかった者の学力選抜の受験	3
学力選抜	4
1 出願資格	4
2 願書受付	4
3 出願手続	4
4 出願手続上の注意事項	5
5 選抜方法	5
6 合格者発表	5
7 入学確約書の提出	5
VI 入学者選抜における個人情報の取扱いについて	6
VII 身体等に障がいがある入学志願者との事前相談	6
VIII その他注意事項	6
IX 入学検定料を郵便局 (ゆうちょ銀行) から振り込む場合の注意点	7
※高等学校奨学金を希望する皆さんへ [奨学金予約採用]	8
明石高専の教育内容等については「学校案内」をご覧ください。	

出願書類用紙

- 入学願書・整理票・受験票・銀行振込受付証明書貼付用紙
- 調査書
- 学年学習評定配分表 (3年)
- 推薦書
- 推薦の場合の送り状
- 「辞退届」の提出について
- 辞退届
- 振込依頼書・振込金受取書・銀行振込受付証明書
- あて名票
- 連絡用封筒

資料名「平成30年度学生募集要項」(3/11)

学 生 募 集 要 項

Ⅰ アドミッション・ポリシー (入学者受入方針)

自由な校風のなかで夢を育み、将来を自ら切り拓いていこうとする意志を持った次のような学生の入学を期待しています。

1. 技術者として活躍したいと強く希望を持っている人
2. 総合的な基礎学力を持ち、理数系科目および英語が得意な人
3. さまざまな実験や実習に周囲と協働して取り組める人

Ⅱ カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施方針)

一般科目と専門科目を低学年から高学年まで体系的に配置したカリキュラムにより、基礎知識・スキルの修得から創造力・問題解決能力の養成まで一貫した構想の下に教育を行います。

1. 自然・文化・社会に対する理解と専門分野の基礎知識を修得できるよう、自然科学系科目、人文社会系科目および工学分野の専門科目による系統的な学習の機会を提供する。
2. 問題解決のための幅広いスキルを修得できるよう、実験・実習やコミュニケーションに関する実践的な学習の機会を提供する。
3. 協働を通して主体的・能動的に社会に貢献する能力を身に付けられるよう、グループによる学習や継続的に課題に取り組む機会を提供する。
4. 社会の変化に対応できる創造力を身に付けられるよう、基礎的な知識・スキルを活用して主体的・能動的に取り組む総合的な学習の機会を提供する。
5. 学生が学習の過程において自身の達成度を把握できるよう、成績評価方法を記したシラバスを公開する。

Ⅲ ディプロマ・ポリシー (卒業認定方針)

次に示すような素養を身につけ、学業成績の評価等に関する規程を満たした学生に卒業を認定します。

1. 自然・文化・社会について広く理解し、専門分野に対する基礎知識を修得している。
2. 専門的スキルや汎用的スキルを用いた問題解決ができる。
3. 協働の中で個人の能力を発揮し、継続的に学習し、技術者としての倫理と責任を持って主体的・能動的に行動できる。
4. 多様化する社会を俯瞰的に把握し、創造的に思考できる。

Ⅳ 募 集 人 員

学 科	入 学 定 員	募 集 人 員
機 械 工 学 科	40名	各学科とも推薦選抜、学力選抜それぞれ 入学定員の80%程度とします。
電 気 情 報 工 学 科	40名	
都 市 シ ス テ ム 工 学 科	40名	
建 築 学 科	40名	
計	160名	

Ⅴ 選 抜 の 方 法

入学者の選抜は、「推薦選抜」と「学力選抜」の二つの方法で行います。

※学力選抜の解答方法はマークシート方式です。ただし、交通事情等不測の事態が発生した場合にはマークシート方式ではない検査問題となることがあります。

資料名「平成 30 年度学生募集要項」(4/11)

推 薦 選 抜

1 出願資格及び推薦基準

推薦選抜に志願できる者は、平成 30 年 3 月に中学校又は義務教育学校（学校教育法施行規則第 95 条第 2 項に規定する文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む）卒業見込みの者（中等教育学校の前期課程を修了見込みの者を含む）で、次の要件を満たし、学校長の推薦を得た者としてします。

- ① 学業・人物ともに優秀である者
- ② 当該学科への志望理由が明白・適切で、志望学科に対し適性・関心を有する者

2 願書受付

受付期間	平成 30 年 1 月 9 日（火）から 1 月 12 日（金）まで （郵送の場合は、1 月 12 日必着とします。）
受付時間	9 時から 17 時まで
受付場所	明石工業高等専門学校 学生課 〒674-8501 明石市魚住町西岡 679-3（電話（078）946-6149）

※学力選抜の願書は、推薦選抜の願書受付期間においても受付可能です。

3 出願手続

出願は、次の書類を、在籍中学校長が一括して、本校所定の送り状を添えて、学生課に提出してください。郵送する場合は、必ず書留郵便とし、封筒に「推薦入学願書在中」と朱書してください。

入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
整 理 票 （ 写 真 ）	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付してください。 写真（縦 4 cm × 横 3 cm）は、平成 29 年 11 月以降に撮影したもので上半身、露襟、正面向きとし、裏面を全面糊付けして貼ってください。白黒又はカラーのいずれでも可能です。
受 験 票	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
調 査 書	本校所定の用紙により、在籍中学校長が作成したものとします。
学年学習評定配分表 （ 3 年 ）	調査書に絶対評価で記入した場合は、本校所定の用紙により提出してください。（なお、1 枚から複数の志願者分をまとめて提出する場合、配分表は 1 部でも可とします。）
推 薦 書	本校所定の用紙により、在籍中学校長が作成したものとします。
入 学 検 定 料	1 万 5 0 0 円。本校所定の振込用紙により、出願者本人の名前で金融機関の窓口で振り込んでください。（ATM による取扱はできません。）「銀行振込受付証明書」を銀行振込受付証明用紙に貼付してください。ただし、郵便局（ゆうちょ銀行）をご利用の場合は本校所定の振込用紙を使用することができませんので、P77「入学検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点を」を参照ください。また、郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合は、「振込依頼書（郵便局出払書）」「電信機（お客さま様）」を銀行振込受付証明書貼付用紙に貼る前にご提出ください。振込手数料は各自ご負担となります。
推薦の場合の送り状	本校所定の用紙により、在籍中学校長が作成したものとします。
連絡用封筒 （選抜結果通知用）	本校所定の封筒（2 通）に、本人のあて名（郵便番号・住所・氏名）を明記してください。
受験票返送用封筒	出願書類を郵送する場合は、本人のあて名（郵便番号・住所・氏名）を明記し、3 割 2 円切手（速達料を含む）を貼った返信用封筒（定形）を同封してください。
あ て 名 票	本校所定の用紙（3 枚）に記入してください。

※「調査書」「学年学習評定配分表（3 年）」「推薦書」「推薦の場合の送り状」については、本校ホームページ（<http://www.okanhi.ac.jp>）からダウンロードしたもので構いません。

4 出願手続上の注意事項

- ① 提出書類の記載事項に不備のあるものは、入学願書を受理しません。
- ② 入学願書の志望学科欄には推薦選抜と学力選抜の志望学科を記入してください。なお、学力選抜を受

資料名「平成 30 年度学生募集要項」(5/11)

験しない場合は、学力選抜の志望学科欄に斜線を引いてください。願書提出後は志望学科及び学力選抜の検査会場の変更は認めません。

(3) 入学検定料の返還について

いったん納付された入学検定料については、本校に出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

入学検定料を払い込んだが本校に出願しなかった（又は出願が受理されなかった）場合は、以下により入学検定料の返還を請求してください。

1. 下記連絡先に「入学検定料返還請求書」及び「銀行振込依頼書」（いずれも本校様式）を請求してください。
2. 本校から上記書類が届きましたら必要事項を記入し、必ず検定料の「振込金（兼手数料）受取書 [本人控]」（郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込んだ場合は振込依頼書（兼振替払出請求書）[電信扱い]（お客さま控）を添付の上、下記連絡先へすみやかに郵送してください。

連絡先：〒674-8501 明石市魚住町西岡 679-3
明石工業高等専門学校 総務課 会計チーム（財務担当）
TEL：078-946-6031

5 選抜方法

- (1) 推薦選抜の志望学科について行います。
- (2) 推薦書、調査書及び面接を総合して行います。

① 面接の日時

1月20日(土)	集合・注意	9:00~9:15
	面接	9:30~

② 面接の場所 明石工業高等専門学校

6 合格者発表

平成 30 年 1 月 24 日（水）9 時

合格者を学内に掲示するとともに、本人及び在籍中学校長に「選抜結果通知」を発送します。

また、参考のため 10 時にホームページ <http://www.akashi.ac.jp/> にも掲載します。電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

7 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、2 月 2 日（金）までに入学確約書（用紙は、合格通知書と併せて、合格者に送付します。）を郵送で提出してください。（2 月 2 日（金）必着）入学確約書を提出しない者は、本校に入学の意志がないものとして取り扱います。

8 当日欠席した者及び合格とされなかった者の学力選抜の受験

推薦選抜に欠席した者及び推薦選抜の結果、合格とされなかった者は、学力選抜入学志願者として取り扱いますので、改めて出願手続（検定料を含む）の必要はありません。

学力選抜を受ける場合は、推薦選抜の際に使用した受験票を持参の上、2 月 18 日（日）の所定の時刻に検査会場に来てください。

資料名「平成 30 年度学生募集要項」(6/11)

学 力 選 抜

1 出願資格

- (1) 中学校又は義務教育学校を卒業した者（平成 30 年 3 月卒業見込みの者を含む）
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者（平成 30 年 3 月修了見込みの者を含む）
- (3) 中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者（学校教育法施行規則第 95 条）

2 願書受付

受付期間	平成 30 年 1 月 29 日（月）から 2 月 2 日（金）まで（郵送の場合は、2 月 2 日必着とします。）
受付時間	9 時から 17 時まで
受付場所	明石工業高等専門学校 学生課 〒674-8501 明石市魚住町西岡 679-3（電話 (078)946-6149）

※学力選抜の願書は、推薦選抜の願書受付期間においても受付可能です。

3 出願手続

入学志願者は、次の書類を、出身中学校長（卒業見込みの者にあつては在籍する中学校長、以下同じ）を経て、本校学生課に提出してください。ただし、出願資格(3)に該当する者は、直接本校に提出してください。

郵送する場合は、必ず書留郵便とし、封筒に「願書在中」と朱書してください。

入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
整 理 票 (写 真)	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付してください。写真（縦4cm×横3cm）は、平成 29 年 11 月以降に撮影したもので上半身、脱帽、正面向きとし、裏面を全面糊付けして貼ってください。白黒又はカラーのいずれでも可能です。
受 験 票	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
調 査 書	本校所定の用紙により、出身中学校長が作成したものとします。ただし、出願資格(3)に該当する者は、履修証明書又は成績証明書を提出してください。
学年学習評定配分表 (3 年)	調査書に絶対評価で記入した場合は、本校所定の用紙により提出してください。（なお、1 校から複数の志願者分をまとめて提出する場合、配分表は 1 部でも可とします。既に推薦選抜で提出している場合は再度の提出は必要ありません。）
入 学 検 定 料	16,500 円。本校所定の振込用紙により、出願者本人の名前で金融機関の窓口で振り込んでください。（ATM による取扱はできません。）「銀行振込受付証明書」を銀行振込受付証明書貼付用紙に貼付してください。ただし、郵便局（ゆうちょ銀行）をご利用の場合は本校所定の振込用紙を使用することができませんので、P7「入学検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点」をご確認ください。また、郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合は、「振込依頼書（郵便替払出請求書）[電信扱い]（お客さま様）」を銀行振込受付証明書貼付用紙に貼付して提出してください。振込手数料は各自ご負担願います。
連絡用封筒 (選抜結果通知用)	本校所定の封筒（2 通）に、本人のあて名（郵便番号・住所・氏名）を明記してください。
受 験 票 返 送 用 封 筒	出願書類を郵送する場合は、本人のあて名（郵便番号・住所・氏名）を明記し、3 月 2 日切手（送料を含む）を貼った返信用封筒（定形）を同封してください。
あ て 名 票	本校所定の用紙（3 枚）に記入してください。

※「調査書」「学年学習評定配分表（3 年）」「推薦書」「推薦の場合の送り状」については、本校ホームページ（<http://www.okashi.ac.jp>）からダウンロードしたもので構いません。

資料名「平成 30 年度学生募集要項」(7/11)

4 出願手続上の注意事項

- (1) 提出書類の記載事項に不備のあるものは、入学願書を受理しません。
- (2) 願書提出後は、志望学科及び検査会場の変更を認めません。
- (3) 高等学校在籍者は、当該高等学校長の発行する「受験許可書」(様式随意)を添付してください。
- (4) 入学検定料の返還について

いったん納付された入学検定料については、本校に出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

返還手続きは、「推薦選抜」の場合と同じです。(P 3を参照)

5 選抜方法

学力検査及び調査書を総合して行います。

学力検査

(1) 検査科目

理科、英語、数学、国語、社会の5教科

(2) 検査の日時

2月18日(日)	集 合・ 注 意	8 : 5 0 ~ 9 : 2 0
	理 科	9 : 3 0 ~ 1 0 : 2 0
	英 語	1 0 : 4 0 ~ 1 1 : 3 0
	数 学	1 1 : 5 0 ~ 1 2 : 4 0
	国 語	1 3 : 3 0 ~ 1 4 : 2 0
	社 会	1 4 : 4 0 ~ 1 5 : 3 0

(3) 検査会場

明石会場	明石工業高等専門学校 明石市魚住町西岡 679-3
大阪会場	大阪教育大学天王寺キャンパス 大阪市天王寺区南河堀町 4-88

6 合格者発表

平成 30 年 2 月 22 日 (木) 9 時

合格者を学内に掲示するとともに、本人及び出身中学校長に「選抜結果通知」を発送します。

また、参考のため 10 時にホームページ <http://www.akashi.ac.jp/> にも掲載します。電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

7 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、3 月 2 日 (金) までに入学確約書 (用紙は、合格通知書と併せて、合格者に送付します。) を郵送で提出してください。(3 月 2 日 (金) 必着) 入学確約書を提出しない者は、本校に入学の意志がないものとして取り扱います。

資料名「平成 30 年度学生募集要項」(8/11)

VI 入学者選抜における個人情報の取扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料以外には利用しませんが、入学者については次の目的のためにも利用します。

- 1 入学後の教育・指導
- 2 入学料、授業料の免除申請の審査
- 3 奨学金申請の審査
- 4 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

VII 身体等に障がいがある入学志願者との事前相談

入学志願者で身体等に障がいがあるため、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合には、出願に先立ち学生課教務学生チーム入試担当へ相談してください。

VIII その他注意事項

- 1 平成 30 年度兵庫県公立高等学校入学者選抜の推薦入学・特色選抜・連携型入学者選抜・多部制 1 期試験（平成 30 年 2 月 20 日合格者発表）に合格した者は、平成 30 年 2 月 21 日（水）午前 10 時までに本校所定の用紙により、学生課教務学生チーム入試担当に辞退届を中学校を通して提出してください。
- 2 入学願書提出後に連絡場所を変更した時は、直ちに本校学生課教務学生チーム入試担当に届け出てください。
- 3 合格者については、3 月 12 日（月）に入学手続を含むオリエンテーションを行う予定です。なお、詳細については合格者発表後、別途通知します。
- 4 平成 27 ～ 29 年度の国立高等専門学校入学者選抜学力検査問題及び解答については、本校ホームページの「学科入学案内」に掲載していますので、ご参照ください。
- 5 「推薦選抜」、「学力選抜」とともに学級学習評定一覧表の提出は不要です。
- 6 入学試験成績の開示を希望される場合は、本校学生課教務学生チーム入試担当にお問い合わせください。開示請求には、受験票が必要です。

* 問い合わせ先

明石工業高等専門学校 学生課教務学生チーム入試担当

〒 674 - 8501 明石市魚住町西岡 679 - 3

TEL ; 078 - 946 - 6149

FAX ; 078 - 946 - 6071

資料名「平成 30 年度学生募集要項」(9/11)

IX 入学検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点

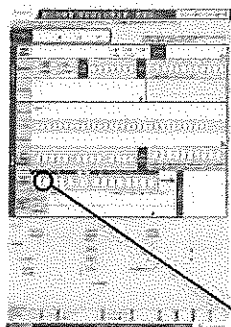
入学検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）からも振り込むことができますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

- 1) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は口座からのみ可能で、現金による振込はできません。
ご利用の際は、「通帳とお届け印」または「キャッシュカード」が必要です。
- 2) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は募集要項に添付されている振込依頼書を使用することはできません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（以下参照）」を受け取り、記入いただく必要があります。
- 3) 振込後は「振込依頼書（兼振替払出請求書）【電信扱い】（お客さま控）」を受領のうえ、出願の際にご提出ください（願書裏面への貼り付けはしないでください。）

【サンプル】

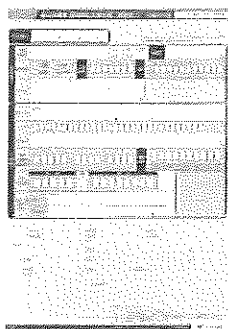
〔振込の際にご使用いただく様式〕

振込依頼書



〔出願の際にご提出いただく様式〕

振込依頼書(控)



お振込先

金融機関名：三井住友銀行
支店名：加古川支店
預金種目：普通
口座番号：5619167
受取人：ドクリツギョウセイホウジン
コクリツコウトウセンモンガッコウ
キコウホンブ
独立行政法人
国立高等専門学校機構本部
振込金額：16,500円

ご依頼人

出願者本人の「おとこる」「日中ご連絡先電話番号」「おなまえ」「フリガナ」をご記入ください。

また、「通知番号」（または「番号」）欄には出願する学科に対応した次の数字を左詰でご記入ください。

- ・機械工学科：01
- ・電気情報工学科：02
- ・都市システム工学科：03
- ・建築学科：04

資料名「平成 30 年度学生募集要項」(10/11)

平成 29 年 5 月

高等専門学校に進学予定の 貸与奨学金を希望する皆さんへ [奨学金予約採用]

独立行政法人日本学生支援機構

日本学生支援機構では、高等専門学校に進学を予定している人で、奨学金を希望する人を対象に、進学前に貸与奨学金の予約採用を実施しています。

1. 奨学金の種類

第一種奨学金(無利子)

※ 貸与であり、将来返還する必要があります。

2. 申込資格

中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部(以下「中学校」という。)の第3学年に在学し、平成30年4月に高等専門学校への進学を希望する者で、特に優れた資質を有し、経済的理由により著しく修学に困難があると認められる者。

3. 申込時期

10月初旬～12月中旬

4. 申込手続

- (1) 申込みを希望する人は、現在通っている中学校から、申込書類一式(申込案内、申込書等)を受け取ってください。
- (2) 申込案内を読んで必要な書類をととのえ、現在通っている中学校で決められた期限までに必要な書類を中学校に提出してください。

5. 申込みから奨学金振込まで

- (1) 日本学生支援機構は、中学校長の推薦を受けた人を対象に選考を行います。採否結果は、平成30年2月中旬に中学校を通じて申込者へ通知します。
※ 申込者がすべて採用候補者となるわけではありません。
- (2) 高等専門学校へ進学後、所定の手続を経て、奨学金の振込が開始されます。

6. 貸与月額

進学後、毎月貸与される額は次表のとおりです。(高等専門学校1～3年生の場合)
貸与月額は、「設置者(国公立・私立)・通学形態(自宅・自宅外)」により定められた金額か、「1万円」のどちらかを選択します。

(平成29年度入学者の場合)

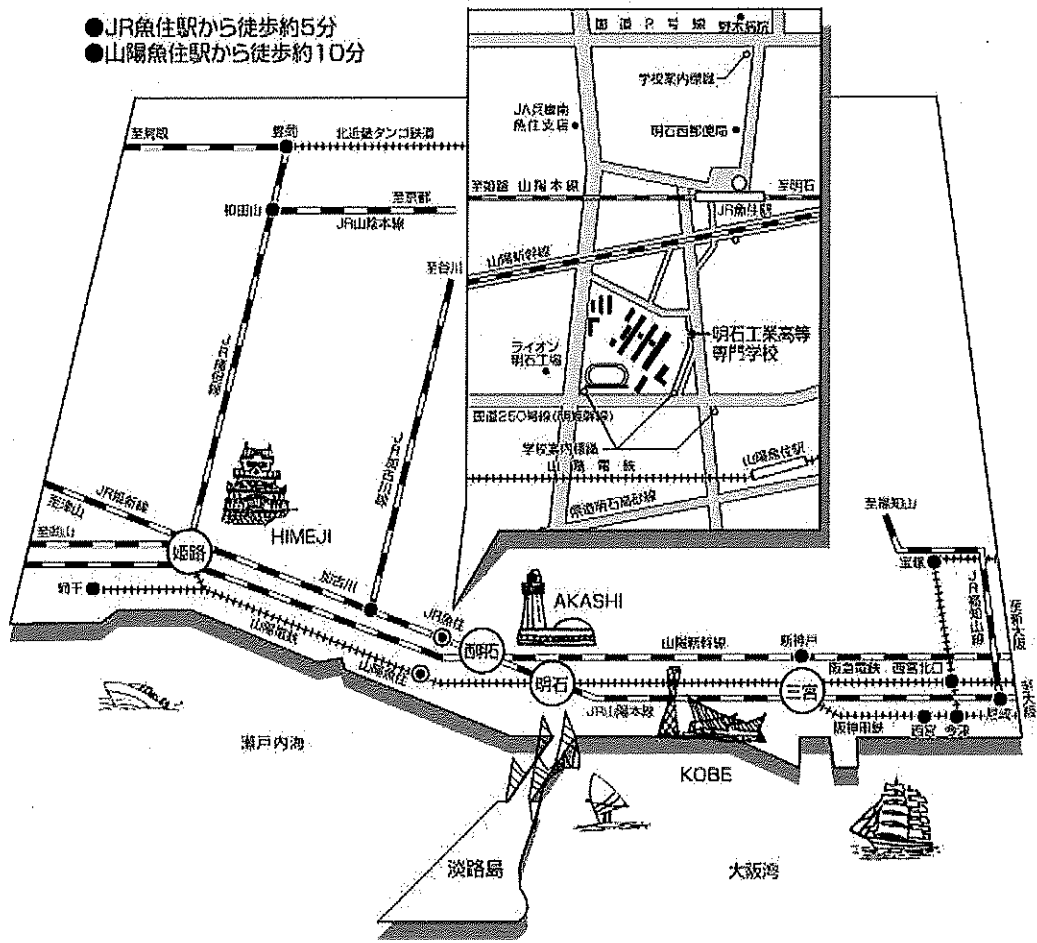
区分	自宅通学	自宅外通学	自宅・自宅外共通
国公立	21,000円	22,500円	10,000円
私立	32,000円	35,000円	

※注 この申込みによって、高等学校での奨学金を受給することはできません。
(各都道府県で行っている高等学校奨学金とは異なるものです。)

資料名「平成30年度学生募集要項」(11/11)

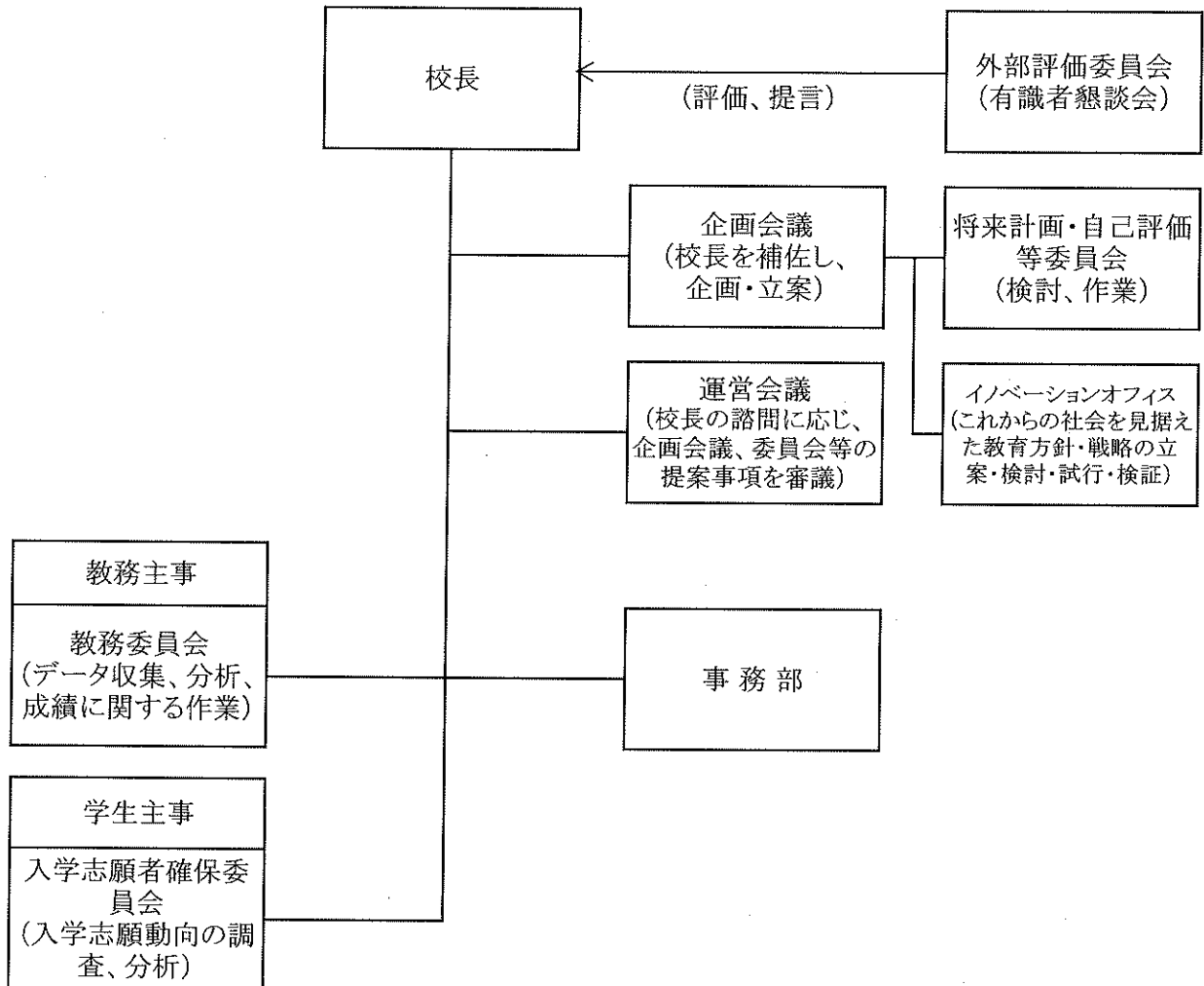
◆学校位置図

- JR魚住駅から徒歩約5分
- 山陽魚住駅から徒歩約10分



出典「平成30年度学生募集要項」

アドミッション・ポリシーに沿った学生を受け入れているかを検証し、入学者選抜の改善に役立てる体制



出典「明石工業高等専門学校規則集から作成」

資料名「教務委員会規程」

教務委員会規程

第1条 教育課程の編成及び教育計画の立案その他教務に関する事項について審議するため、
教務委員会（以下「委員会」という。）を置く。

第2条 委員会は、次の委員をもって組織する。

- (1) 教務主事及び教務副主事
- (2) 技術教育支援センター長
- (3) 専任教員（助手を除く。）のうちから教務主事の推薦に基づき、校長が指名した者
- (4) 学生課長

第3条 前条第3号の委員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、補欠による後任委員の任期は前任者の残りの期間とする。

第4条 教務主事は委員長となり委員会を招集し、その議長となる。委員長に事故があるときは、委員長の指名する委員がその職務を代行する。

第5条 委員会は、委員の過半数の出席がなければ議事を開くことはできない。

第6条 委員長が必要と認める場合は、構成員以外の者を会議に出席させ、意見を述べさせることができる。

第7条 委員会の事務は、学生課において処理する。

附 則

1 この規程は、昭和42年4月1日から施行する。

2 従前の規則は廃止する。

（この間の附則省略）

附 則（平成14. 8. 19）

この規程は、平成14年8月19日から施行する。

附 則（平成18. 1. 11）

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成19. 2. 14）

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成28. 3. 9）

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（平成29. 3. 8）

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成30. 3. 14）

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

資料名「入学志願者確保委員会規則」

入学志願者確保委員会規則

(趣旨)

第1条 明石工業高等専門学校（以下「本校」という。）の入学志願者確保活動を円滑かつ適正に行うため、入学志願者確保委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議するとともにその業務を行う。

- (1) 入学志願者確保に係る広報の企画、実施、調整に関する事。
- (2) 入学志願動向の調査、分析に関する事。
- (3) その他、本校の入学志願者確保活動に関する事。

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学生主事
- (2) 学生委員会委員

2 前項第1号の委員の任期は2年、第2号の委員は1年とし、再任を妨げない。ただし、欠員による後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、学生主事をもって充てる。

2 委員長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員による後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

4 委員長は、校長の命を受け、入学志願者確保活動に関する業務を掌理する。

5 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長の指名した委員が、その職務を代行する。

(委員以外の者の出席)

第5条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求めることができる。

(専門委員会)

第6条 委員会に専門的事項を審議するため必要がある場合は、専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会に必要な事項については、委員会が定める。

(事務)

第7条 委員会の事務は、学生課において処理する。

(雑則)

第8条 この規則に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は委員会が定める。

附 則 (平成 26.1.22)

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行に伴い、入学志願者確保検討委員会規則（平成21年2月4日制定）は、廃止する。

附 則 (平成 28.3.9)

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則 (平成 29.3.8)

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則 (平成 30.3.14)

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

資料名「運営会議規則」

運営会議規則

(趣旨)

第1条 明石工業高等専門学校内部組織規則第13条第2項の規定に基づき、運営会議（以下「会議」という。）に必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第2条 会議は、校長の諮問に応じ、企画会議、委員会等から提案された事項を審議する。

(組織)

第3条 会議は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 校長
- (2) 副校長（総務担当）、副校長（教育改革担当）及び校長補佐
- (3) 各学科長及び一般科目長
- (4) クラス経営主幹
- (5) イノベーションオフィス長
- (6) 事務部長及び各課長
- (7) その他校長が指名する者

(議長及び会議の招集)

第4条 校長は議長となり会議を招集する。ただし、議事の進行は、副校長（総務担当）が行う。

2 議長に事故あるときは、副校長（総務担当）が代行する。

(委員以外の者の出席)

第5条 議長が必要と認める場合は、委員以外の者を出席させることができる。

(事務)

第6条 会議の事務は、総務課において処理する。

附 則

1 この規則は、平成22年5月12日から施行し、平成22年4月1日から適用する。

2 運営委員会規則（昭和42年4月1日制定）は廃止する。

附 則

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成26年1月1日から施行する。

附 則（平成28.3.9）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（平成29.3.8）

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

資料名「入試関係説明会等参加状況」

説明会参加者数が入学試験出願者数と相関があることが分かっており、アドミッションポリシーに沿った志願者を集めるための検討を行い、改善しながら実施していることを示すための資料。

入試関係説明会等参加状況

年度	平成	学校関係		予備校関係		入試関係		入学試験		入学試験		入学試験		入学試験		入学試験		計	出願者数	合格者数
		学校	予備校	予備校	予備校	本校	他校	本校	他校	本校	他校	本校	他校	本校	他校	本校	他校			
5						107	47	17	23	1	9	211	160	58	37	5	260	281		
7				552	552	83	47	22	21	2	6	203	162	58	24	21	275	302		
8				588	588	88	40	43	30	7	4	212	159	40	30	11	240	304		
9				659	659	78	43	37	31	6	5	200	235	35	36	22	320	337		
10				719	719	85	34	36	29	5	7	198	211	61	32	20	324	339		
11				672	672	84	37	36	29	3	7	198	187	36	31	27	291	314		
12				628	628	79	33	35	22	4	2	187	192	39	20	33	306	332		
13				703	703	79	23	40	16	4	4	184	230	32	27	9	318	320		
14				421	421	61	29	40	16	1	3	162	183	43	25	12	278	252		
15				473	473	67	23	37	21	3	3	169	350	35	29	13	427	315		
16				418	418	66	30	40	17	7	7	172	327	53	57	21	458	292		
17				405	405	52	29	40	16	4	4	163	289	35	25	31	381	288		
18				383	383	65	29	40	18	9	9	175	257	54	26	28	365	262		
19				424	424	62	29	40	11	16	5	163	273	40	46	21	385	251		
20				343	343	51	29	40	5	17	2	144	251	38	30	15	406	220		
21				415	415	48	21	40	3	11	2	123	183	28	11	10	307	229		
22				395	395	46	17	40	12	7	3	123	339	27	18	19	397	249		
23				438	438	46	18	32	8	8	2	114	327	39	17	13	560	258		
24				493	493	52	27	25	10	14	1	133	350	44	17	11	578	269		
25				408	408	51	25	30	14	8	3	131	289	32	13	17	494	298		
26				383	383	43	23	26	8	12	2	118	301	9	10	14	524	230		
27				425	425	61	20	25	6	12	1	129	285	16	13	45	546	232		
28				461	461	43	19	30	14	12	1	118	302	8	12	15	664	230		
29				564	564	73	17	17	13	14	1	117	361	3	8	14	864	259		
合計				5:27	9:29	8:29	9:29	10:7	10:7	10:7	10:7	10:7	10:7	10:7	10:7	10:7	10:7	10:7	10:7	10:7

※ 第一志願者確保率等のため

資料名「H29 オープンキャンパスアンケート結果集計」(1/5)

入学者のほとんどがオープンキャンパスに参加しているため、アンケートによりアドミッションポリシーとずれていないかのチェックの参考とする。

平成29年度オープンキャンパスアンケートまとめ

		回答数
1. あなたはア～エのいずれですか。		
ア. 中学生	男	13
	女	8
	3年生	10
	2年生	9
	1年生	2
イ. 保護者		
ウ. 中学校の先生		207
エ. その他		6
		1 小学校6年生
2. このオープンキャンパスは皆でお知りになりましたか。(複数回答あり)		
・中学校からの紹介		61
・本人、家族、友人等		12
・学校説明会、高専祭、トライやるウィーク等イベント		10
・ホームページ、インターネット		155
・新聞の記事等	選択なし	11
	神戸新聞	1
	広報あかし	1
・パンフレット、ポスター		4
・塾からの紹介		3
・その他(学校の雰囲気、先生や学生の様子、勉強できる内容)		2
3. 明石高専のオープンキャンパスに参加しようと思ったのはどうしてですか		
子供が進学を希望している		
受験を考えているから		
進路に迷っているから		
受験するために学校のことを知りたかったから		
建築学科に行きたいから		
本人が強く希望しているから		
今の高校＝大学受験1本に少し不安をもったので		
興味があったから		
中2の子供の進路を考えて		
子供が機械工学系に興味があったから		
娘の進学先としての検討のため		
学校に興味があるので来て見たかった		
息子の将来のために学校見学をしたかったから		
子供の進学検討		
子供の来年受験のみ		
体験授業が楽しそうだったから		
体験授業があるから		
高専とはどんな所かどんな勉強をするのか知りたかった		
明石高専に興味があったから		
以前より興味のある学校です		
明石高専に入学したいと思うから		
体験型の授業を受けてみたかった		
子供の入学の為		
学校に興味があったので		
本人が高専に興味をもっていたから		
子どもが希望していたので		
娘の進学先として考えているため、校風や寮の現状などを確認したかったため		
息子に興味を持って貰いたかったからです		
普通科とはどう違うのか。周りに高専に行っている人がいないのでわからない事が多かったから		
息子(中3)が入学の意思があるため、私は説明会で、入試情報を知りたかったため		
子供が明石高専受験を希望しているので		
第一志望であるので		
子供の進学希望先として		
子供が明石高専に興味を持っている事と、私も明石高専は良い選択だと思っているので		

資料名「H29 オープンキャンパスアンケート結果集計」(2/5)

志望校のひとつ
 高等と普通校との違いを知りたかったから
 受験を検討しているから
 子供が参加したいといったので
 子供が志望しているから
 入学志望校だから
 高等進学希望のため
 子供が志望しており、学校のことを知りたいと思ったので。
 進学先決定の参考のため
 子供が進学を希望しているため
 子供が明石高等への入学を希望している為
 子どもが進学を希望している為
 就職(進学)に有利だから
 高等に興味があったから
 子どもが希望しているから
 学校の雰囲気等を知るため
 一昨年、昨年とこきせて頂きましたが来年度受験決定にあたり再確認をしたかったようで今年も参加させて頂きました
 子どもの進学希望校のため
 子どもの進学先として高等を考えていたから
 高等に興味があったため
 息子が高等に興味があったから
 子供が明石高等入学を希望している為、学校の雰囲気等を知っておく為
 進学、就職、実績が良いのでどんな学校に興味をもちました
 子供が受験を希望しているから、兄が在籍している以外の学科の内容を知りたかったため
 受験させたいと思ったので
 子供の意向又、私の父が卒業生なので検討した(太陽光ボイラーを見たかった)
 受験を検討しているため
 子供がプログラミングや電子工作に興味があり、工業科への進学を考えている為
 本人が進学希望なので
 子の志望校の候補だから
 子供の進路選択の為
 各学科のことをよく知りたかったから
 希望進学先の一つなので
 息子が受験を検討しているから
 ものづくりに興味があり、将来の進路に考えているため
 普通科と高等の違い、各学科の内容等知りたかった為
 進学を考えているから
 長男が進路として検討しているため
 体験ができて、どんな場所でどんな方法で学べるかを確認できると思いました
 詳しく知りたかった
 進学を希望しているから
 子供が興味を持っているから
 子供が受験を希望しているので
 学校の特色に興味をもったので
 距離の近さ、及び生徒の希望
 息子(中学3年生)が興味を持っているので
 どういう学校か実際に行って(子供と)体験したり、学校の雰囲気を感じてほしかったから
 受験の意思の確認及び学科選びの参考にするため
 娘が興味を持っていたので。(母もなりたいたいものが多くあり、明石高等であれば、それにつながる。)

高等への進学を子が考えているため
 学校の様子を目に見たかったから
 校内見学や体験授業ができるから
 受験予定の学校の為、子供の強う希望により参加。(又その妹も興味があり同伴した)
 進学先として考えたい
 お兄ちゃんが明石高等を受験しようとしていて、自分も興味があったから

資料名「H29 オープンキャンパスアンケート結果集計」(3/5)

子供が高専に興味があったから
 高等学校とは違う授業形態に興味があった為(専門的な事がとても多い)
 子供が興味をもっていたので
 子どもが希望
 子どもが入学を考えている
 高専入学希望の為
 高専の教育内容について、また学校の雰囲気を知るため
 子どもの進学する学校を選択するために校風などを見学したいと思ったから
 子どもが希望したから
 明石高専への入学を子供が強く希望したので
 子供自身が目指したいと言う気持ちもあったので、実際、自分の目で見て、体感せよと照つたのと、本人が行ってみたいと思つた気持ちが一致したので、公立高校の普通科を志望しているが、高専にも大変興味があるので、各学科の特色や、編入学、就職に関する事も知りたかつたから
 明石高専への入学を希望しているため
 子供が入学希望しているため、どのような学校か知りたかつた
 以前より子ども本人がロボコンに興味を示していたため
 進学の選択肢として考えていた為
 小さい時から知っていてどうしてもこの学校に行きたいと思つていたので
 子供が興味をもつたから
 第一志望校のため、希望の学科以外の学科についても知りたかつたため
 息子本人の希望
 子供が入学を希望している為
 息子が興味を持つたから
 子供が志望しているため
 子どもの進学希望先だったので
 国立だということ、パンフレットが具体的にわかりやすく、もっと知りたかつたと思つた。ロボコンも見せていた
 子どもが興味をもつたから
 子供の受験の参考に
 通常の高校とは、大きく違うので、一度見ておかなければ進路として候補に入りにくいから
 息子が入学を希望しているため
 子どもが明石高専に行きたいと希望しており、学校の雰囲気を感じるため
 神戸高専との違いを知りたい為
 子供が興味があったので
 子供が興味あるので
 高専に進学を希望しているため
 明石高専をより深く知る為
 子の進学先として魅力的だと思つたから
 来年、受験をする際、参考にしたかつたから
 明石高専の都市工学システム科に進学し、環境について深く学びたかつたから
 どんな学校か見てみたかつたので
 工業系の仕事に就きたいと思つているから
 ぜひとも入学させたいから
 子供が進学したいと希望したので
 高専に行きたいから
 お父さんにすすめられたのと、明石高専を受験したいと思つているからです
 ロボットや親会が好きだったので参加しました
 明石高専の先生から、聞いていた
 希望の学科がある為実際自分の目で見て確かめたかつた
 高専の今を知りたいと思つたから、受験の選択肢のひとつだから
 就職(進学)がいいから
 高校進学(子供)
 息子の希望により
 第一志望校のため
 受験の年だということもあり、あらためて、明石高専の事を知らうと思つたから
 子供が進学したい学校のため
 本人(子ども)の希望で

資料名「H29 オープンキャンパスアンケート結果集計」(4/5)

息子が高専希望しているためとのづくりが好きであるため。これからの時代に専門的な知識が必要で普通科ではもの足りないから
 息子の第一希望
 子供にこのような学校があるというのを実際見てわかってほしかったので一緒に行ってみることにしました
 中1から志望していたので、(郡活動生)引選して参加できる今年を楽しみにしていました
 もう少しくわしく明石高専の事が知りたかったため
 実際にこまかいお話を聞かなくてほ、入学したくても、術がないからです
 中2の息子の進学先の参考にしたい
 子どもの進学先の候補に入れようと思って、現在中1ですが参加希望者が多くても「中3に限る」ようなことはほしい。将来設計ほ早めにさせたい
 本人(中学生)の希望
 息子が進学を希望しているため
 専門的な科目があり、それに興味があったから
 私も娘も興味があったので
 子供が参加してみたいと言ってきたので
 子供の入学
 学校の施設、雰囲気息子が見るため。また、体験授業を受けて実際するため、保護者は実際の入試情報を得るため
 子供が受験したいと急に希望したので学校についてくわしい事を知りたかったため
 行きたい科目が2つあり、どちらにするか悩んでいたため実際体験してみたいと思ったから
 実際に行ってみて、学校や学生の雰囲気を感じたいと思ったから。通学路も確認してみたかった
 進学実績が非常に良いから
 受験前の下見
 子どもが興味のある分野で、進学先に入れるか検討したかった為
 自動車に興味があり、勉強より自動車です。高専に行きたいので勉強をがんばろうと思ってもらいたく参加しました
 本人希望
 息子の希望
 高専について知りたいので
 子供が興味を持っていたので
 子供がロボットなどを通して高専に興味があり、情報収集のため
 自由研究の理科好きな子どもなので、早いうちに自分の行きたい学校を見つけて、是非入りたいと思ったら受験勉強のモチベーションが高くなるかと思ひ参加しました
 中3の息子がダイアログカフェに参加することで明石高専に興味を持ち「ぜひ参加したい」とのことだったので
 子供が貴校に興味を持ち、受験し、貴校で学びたいと言っているため
 高専について知りたかったから
 子どもに向いている学校だと思ったので
 中学校の息子(中2)がものづくりに興味があるので体験させてみようと思いました
 受験を考えているため
 中3の子供が受験したいと思っているから
 第1志望校として息子が受験を希望しているから。家も大阪で受験で初めて学校へ行くのは本人も不安だろうと思ったこともあります。参加して良かったです
 兄が大卒(文系)で就職が決まったが決まるまでにたいへんだった。選択肢が少ない。近くに就職先がなかった
 一意見にきたかったから。進路科目に興味があったから(子)、勉強の負担が軽減になればと思った(母)
 明石高専に入学させたい
 子供より後継が有り
 子供が明石高専へ入学したいと言ったから
 来年入学希望しているから
 具体的にどんな学校なのか知りたかった為
 子供が明石高専に行きたがっているため
 高専に子供を進学させたいので(子供が理数系なので、できるだけしっかり勉強させたいので)
 興味もあり、先生のススメもあり
 子どもが行きたいと希望したから
 高専に興味があったので、甥が既の高専に行っているのと、娘の友人が明石高専に入学して話を聞いて息子が興味を持ったので
 普通科の公立に進学するか、高専かを迷っている
 息子、娘の進学先として候補を深めたかったから
 子供の進路の選択肢として
 入学を希望しているから
 子供が入学を強く考えているので
 受験予定の為
 息子が進学したいと希望したため中学1年生です。早いうちに学校の様子を知りたいと思ひ参加しました。冲縄から来ましたので寮の様子もわかって安心しました

資料名「H29 オープンキャンパスアンケート結果集計」(5/5)

垢抜に興味があるため
 受験を考えているから
 子供が希望していたので
 子供が参加したいと言ったので
 子供が理数系が好きで、母校に興味を持ったから
 子ども(中3)が進学を考えているから
 子供の入学希望
 受験も視野に入れている為
 学校の勉強内容を、子供と一緒に知りたかったため
 中3の息子が都市システム工学科の受験を考えているから
 入学希望のため
 受験を考えているため
 受験を考えているため
 娘が建築に興味を持っており、娘が明石高専に興味をもっていたので
 子どもの希望
 子供が進学先として考えているので
 息子(中2男子)の進路のひとつとして考えているため
 明石高専への進学を希望しているため
 子供が興味を持っていたため、体験することによって学科をよく理解するため
 子供が参加希望したため
 専門的な勉強を具体的に見聞きたかった為
 子どもの進学に合っているのではないかと思った為
 子供が明石高専にはいりたい
 長男が中3であり、進路の一つとして検討中であるため
 子ども(中3)の進路の参考にしたいから
 昨年も参加していて入学希望の為
 子どもが理系の学校に興味があるため、参加してみました。子どもの学年はセンター試験が変更になる為、理系国公立大学行くのに明石高専はどうか考えています
 高専という学校がどういところなのか見てみたかったのと、海外研修のことを知りたかったため
 明石高専を受験したいと思っているから(今、中3の子供の受験(大学)よりセンター試験が変わる為進路についてじっくりと考えたい、知りたいたいと思いました)

明石高専生のコンピテンシー変化 2016⇒2017⇒2018

2018年2月7日 企画会議
イノベーションオフィス長 平石年弘

カリキュラム改訂と PROGによるアセスメント

- 2014年(H26)大学教育再生加速プログラム【テーマ I アクティブ・ラーニング】:15歳からのイノベティブ・エンジニアの育成
- 2015年4月 **AL入門導入**(1年生)

- 2016年1月 **第1回PROGテスト**(2、3、4年生)
- 2016年4月 **Co+work導入**(2年生、3年生、4年生)
学習単位の導入

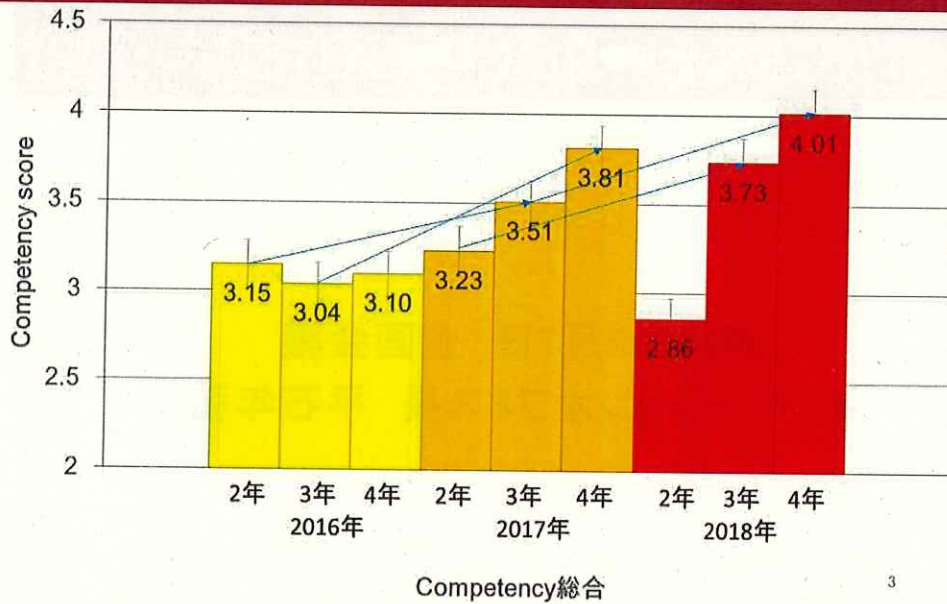
- 2017年1月 **第2回PROGテスト**(2、3、4年生)

- 2018年1月 **第3回PROGテスト**(2、3、4年生)

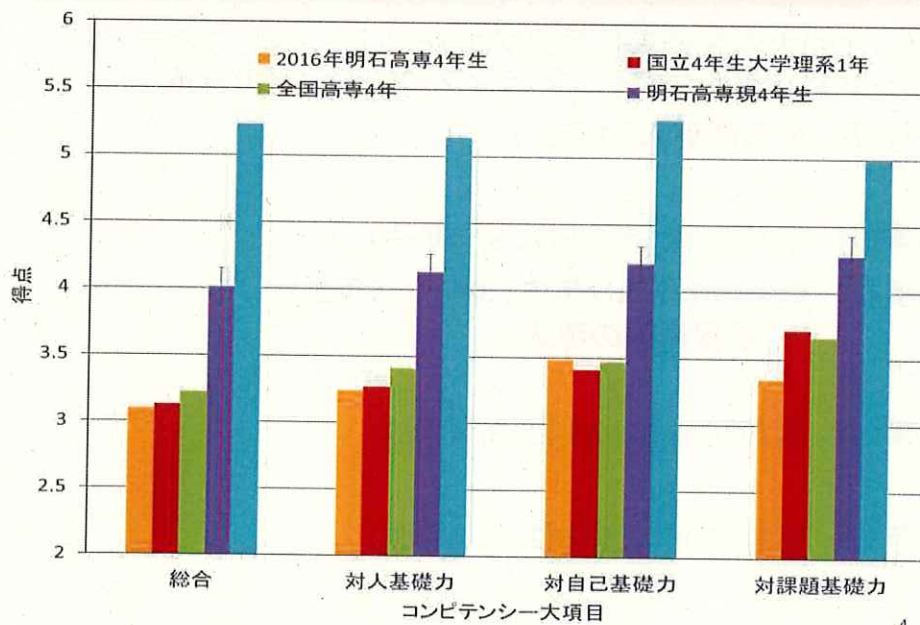
2

資料名「H29PROG結果報告」(2/3)

2年・3年・4年のコンピテンシー総合変化

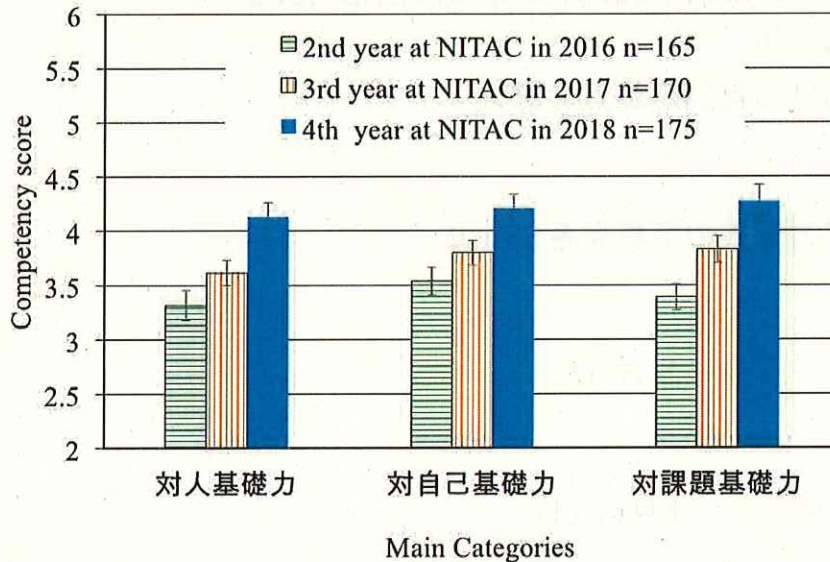


コンピテンシーの比較



資料名「H29PROG結果報告」(3/3)

現4年生の2016年→2017年→2018年の変化 対人基礎力・対自己基礎力・対課題基礎力



5

結果と課題

- Co+work導入後2年で明石高専4年生は国立大学理系1年生と他高専4年生よりも高いコンピテンシーを持つようになった。特に大学生では伸びにくい対人基礎力が向上した意味は大きい。⇒学年学科横断ランダム選抜による対人基礎力の養成
- コンピテンシーの伸びは高学年ほど大きい。⇒学年混合によるコミットメント(自分ごと)が創出されている。
- 対人興味/共感・受容、主体的行動、完遂、良い行動の習慣化の伸長は少ない。⇒一般的に主体性の向上には時間がかかる。対人興味/共感・受容についてはグローバル教育との関連を調査する必要がある。
- 他高専のデータを見る限りテストの再受験による影響は少ない。
- Co+workにおいて2年生に役割を与え、コミットメントを生み出す必要がある。上級生と教員の働きかけが必要。
- 一般に 自己選択→コミット→成果→認められる→自信→主体性の向上に時間がかかる。来年の4年生は？
- 入試改革(個人面接をグループワークに変更)で入学者のポテンシャルは上がるか？

6

資料名「入学者選抜に係る変更点」

変更点

- 平成17年度（10段階相対評価 から 5段階絶対評価へ）
調査書の配点変更
推薦選抜における特別活動点の導入
- 平成22年度
推薦選抜と学力選抜の定員を各50%に
- 平成28年度
学力検査がマークシート方式に
- 平成30年度
推薦選抜が土曜日に（1月20日）

国立 明石工業高等専門学校

資料名「学則の学生定員を定めている箇所」

学 則

~~~~~ (略) ~~~~~

(学科、学級数、入学定員及び履修コース)

第7条 学科、学級数及び入学定員は、次のとおりとする。

| 学 科       | 学級数 | 入学定員 |
|-----------|-----|------|
| 機械工学科     | 1   | 40人  |
| 電気情報工学科   | 1   | 40人  |
| 都市システム工学科 | 1   | 40人  |
| 建築学科      | 1   | 40人  |

2 電気情報工学科に、次の履修コースを設ける。

電気電子工学コース

情報工学コース

3 前項の履修コースの選択、決定方法等については、別に定める。

~~~~~ (以下省略) ~~~~~

